

# 光る星座パネル

## 1 目的

星の学習は、学校で観測できないため、家庭での学習が大きな比重を占めます。星や星座への親しみが薄い児童にとって、星座を探し出すことは難しいものです。また、探し出したとしても、それが本当に自分の見つけた星座なのかどうか確証がもてないということもあります。

そこで、蓄光テープを用いた星座パネルを使うことで、家庭でも星座を見つけやすくすることができます。

## 2 準備するもの

- ・ 星座絵と星座線が記入されたOHPシート（A4版1枚）

※ 星座シートの原図は、ページの最後にあります。

- ・ 蓄光テープ(ルミノータープ：1mで760円程度)

※ 100円ショップの「蓄光のり絵の具」

3色セット100円で代用可

- ・ はさみ
- ・ カッター
- ・ ものさし
- ・ 工作用マット



## 3 作り方

- ① 蓄光テープを小さな円形に切り取り、OHPシートの恒星の場所に貼り付ける。

※ はとめパンチの穴は直径4mm、穴開けパンチの穴は6mmです。

星の等級によって大きさを変えると、より分かりやすくなります。

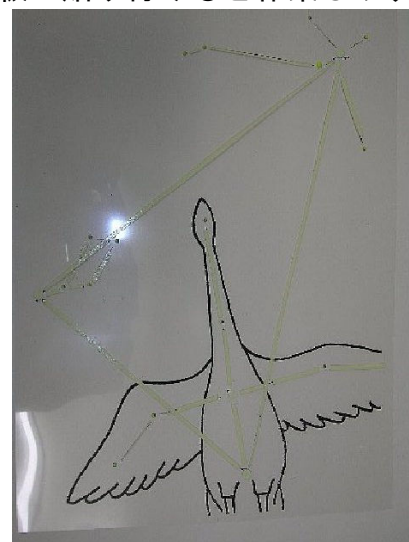
- ② 蓄光シートを短冊状（幅2mm）にカッターで切り取り、OHPシートの星座線上に貼り付ける。

※ 短冊状に切るときはルミノータープの台紙をはがし、カッター板に貼り付けると作業しやすくなります。

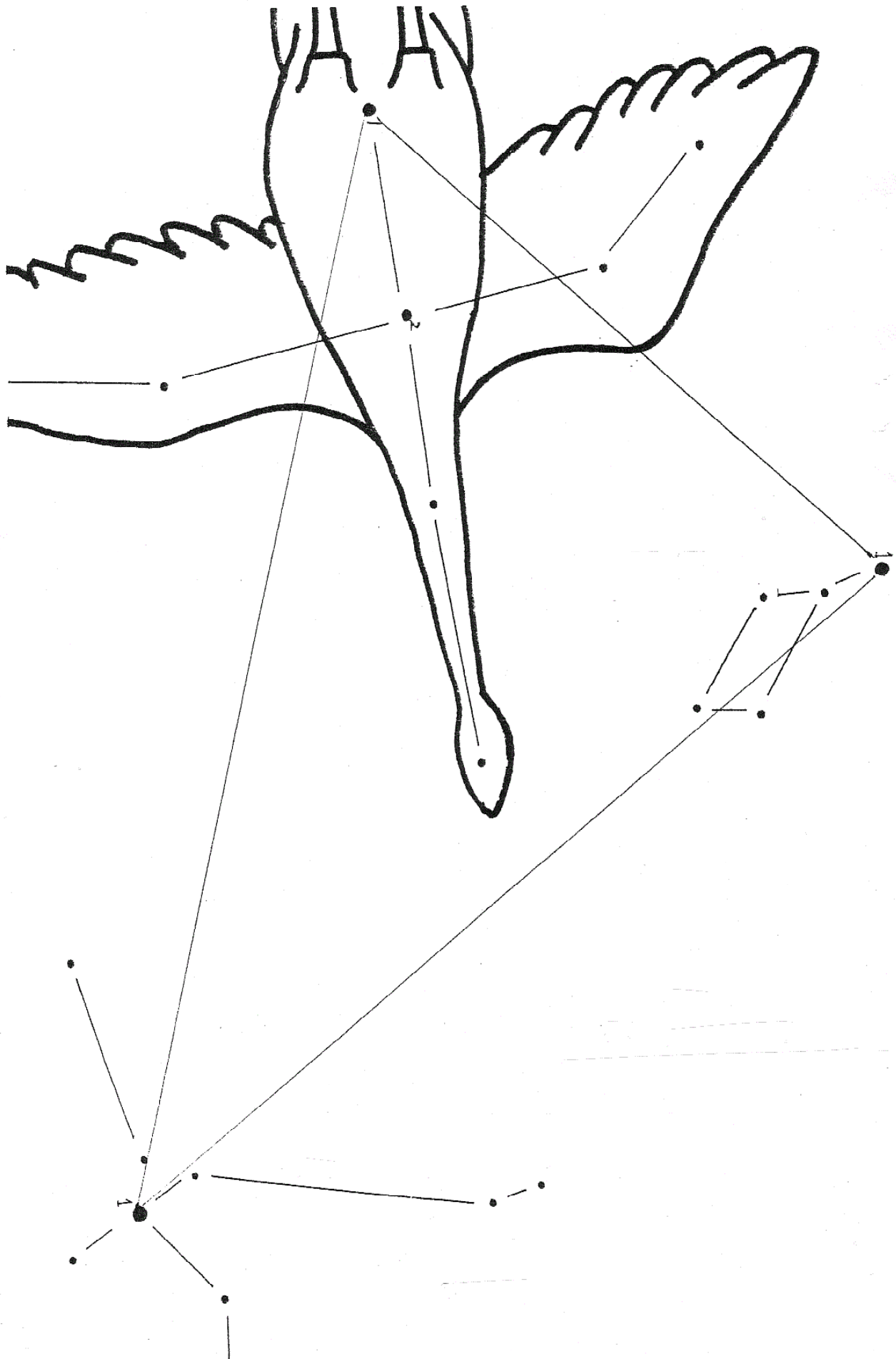
## 4 使い方

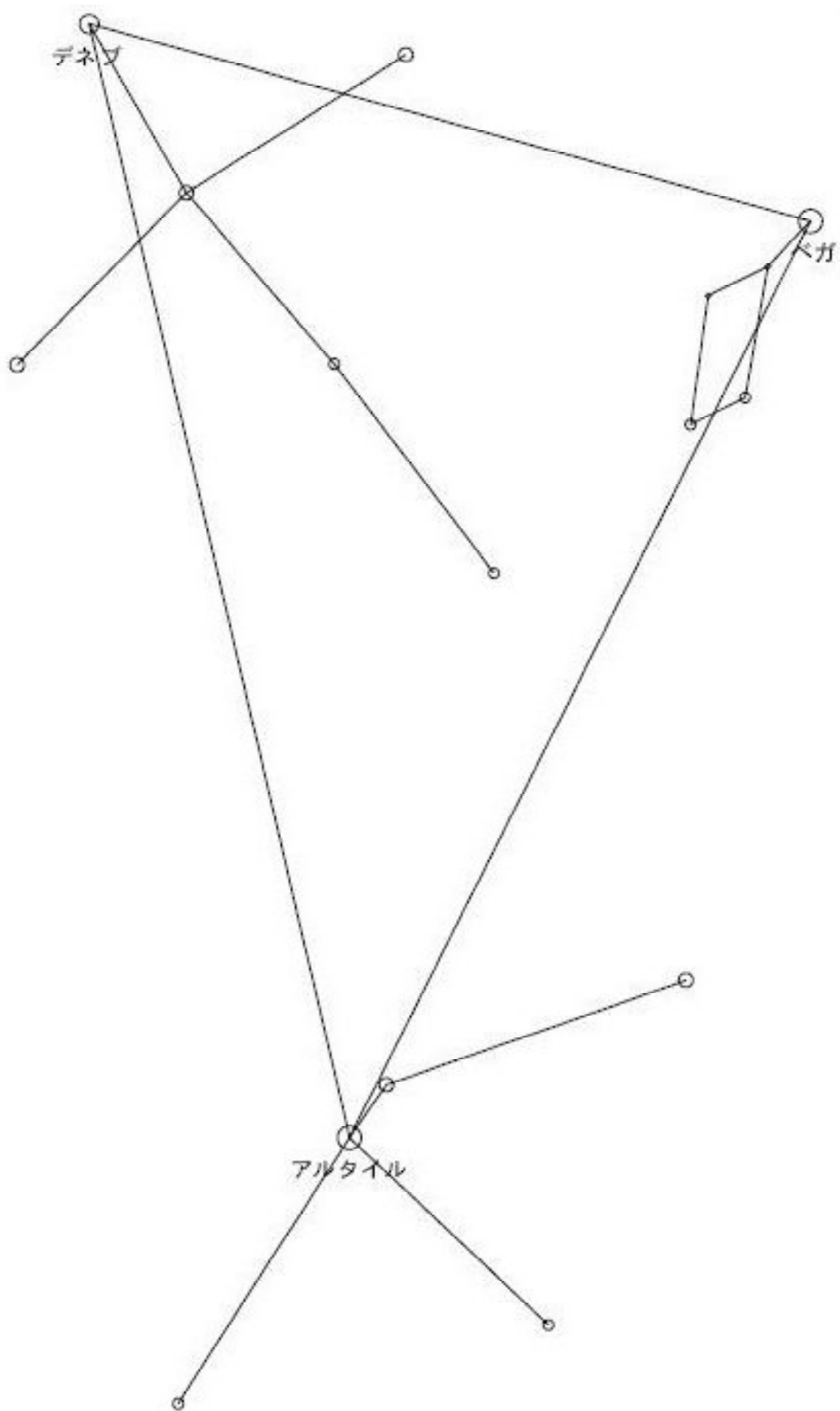
この星座パネルは蓄光テープを使用しているため、1時間ほど蛍光灯の光を当てると、一晩蛍光を発し続けます。

実際に野外に出て星座を探す時は、パネルを頭上にかざします。蛍光で示された星座と、形や大きさがぴったり重なるものを探すと、目的の星座が見つかります。時間をずらしてもう一度この教材を使って星座を観測した時、星の並び方がパネルのものと同じであれば、星座は形を変えずに移動していることが理解できます。

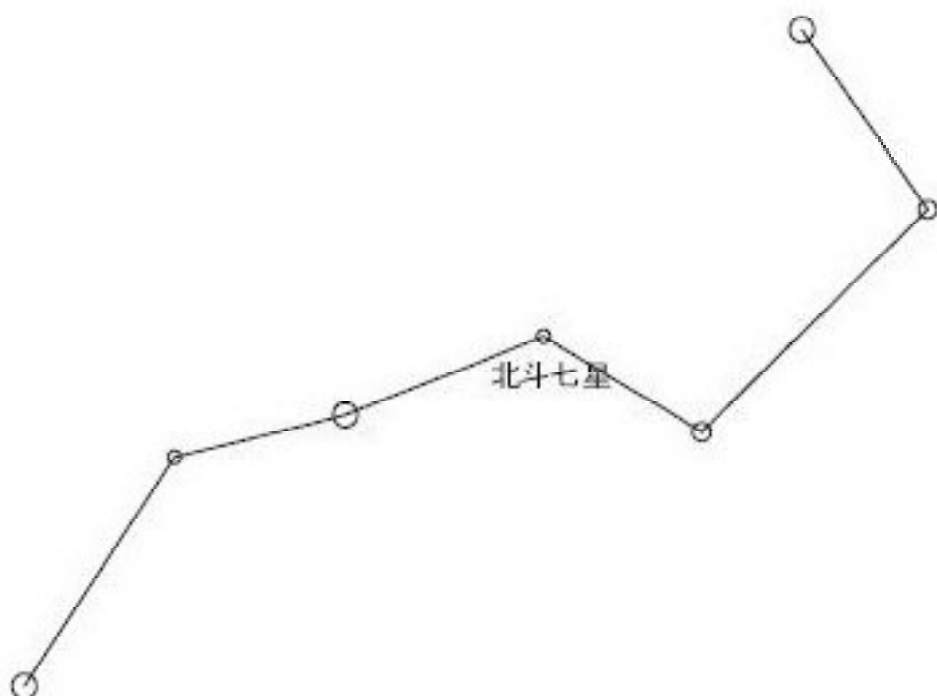
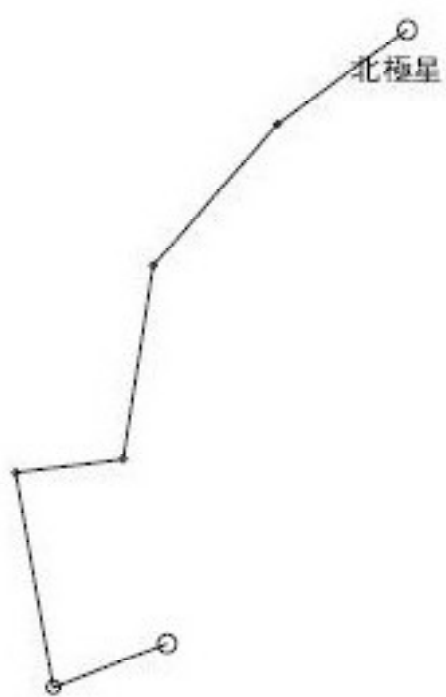


【資料】このままコピーしてお使いください

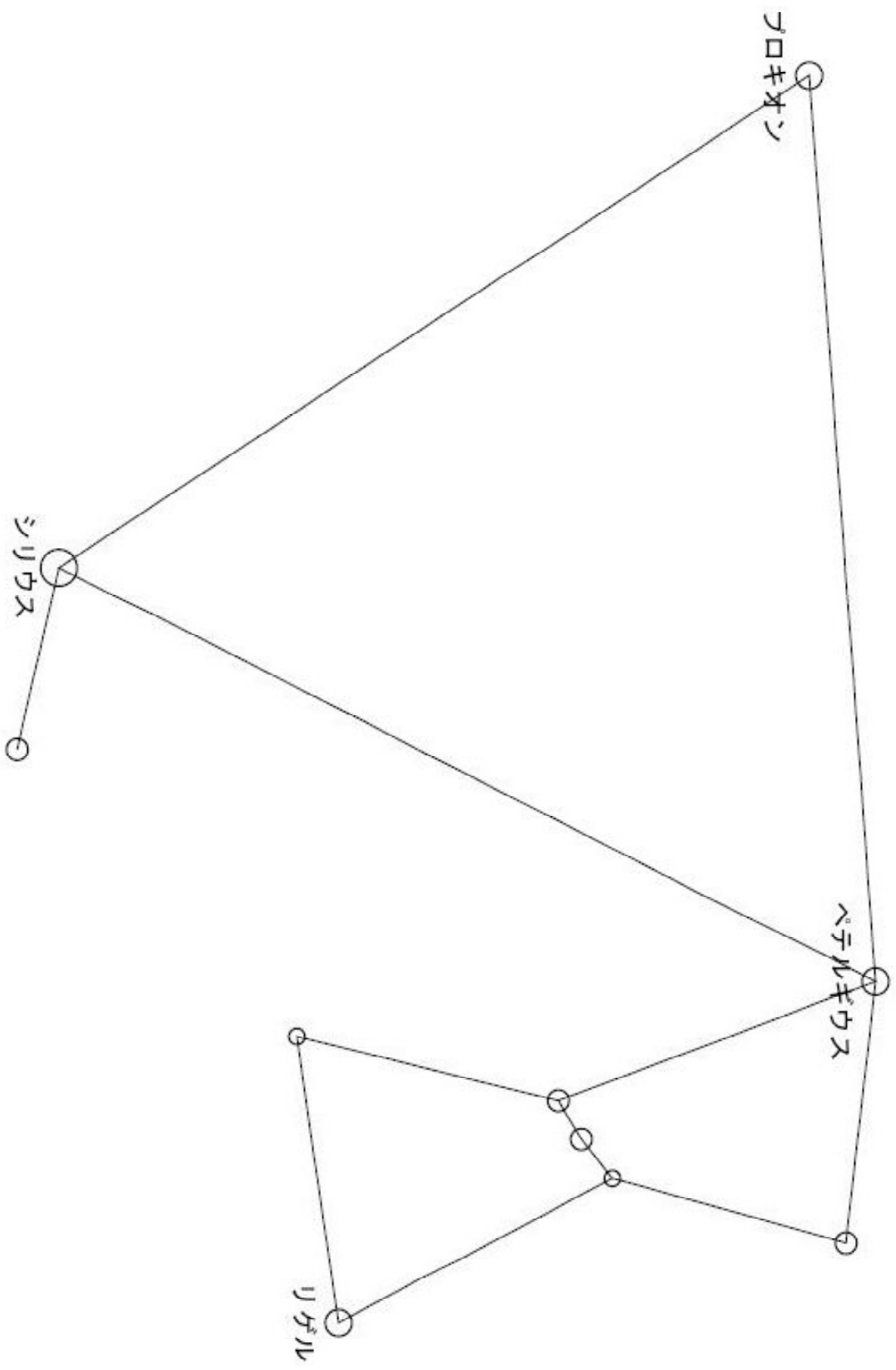




夏の大三角形

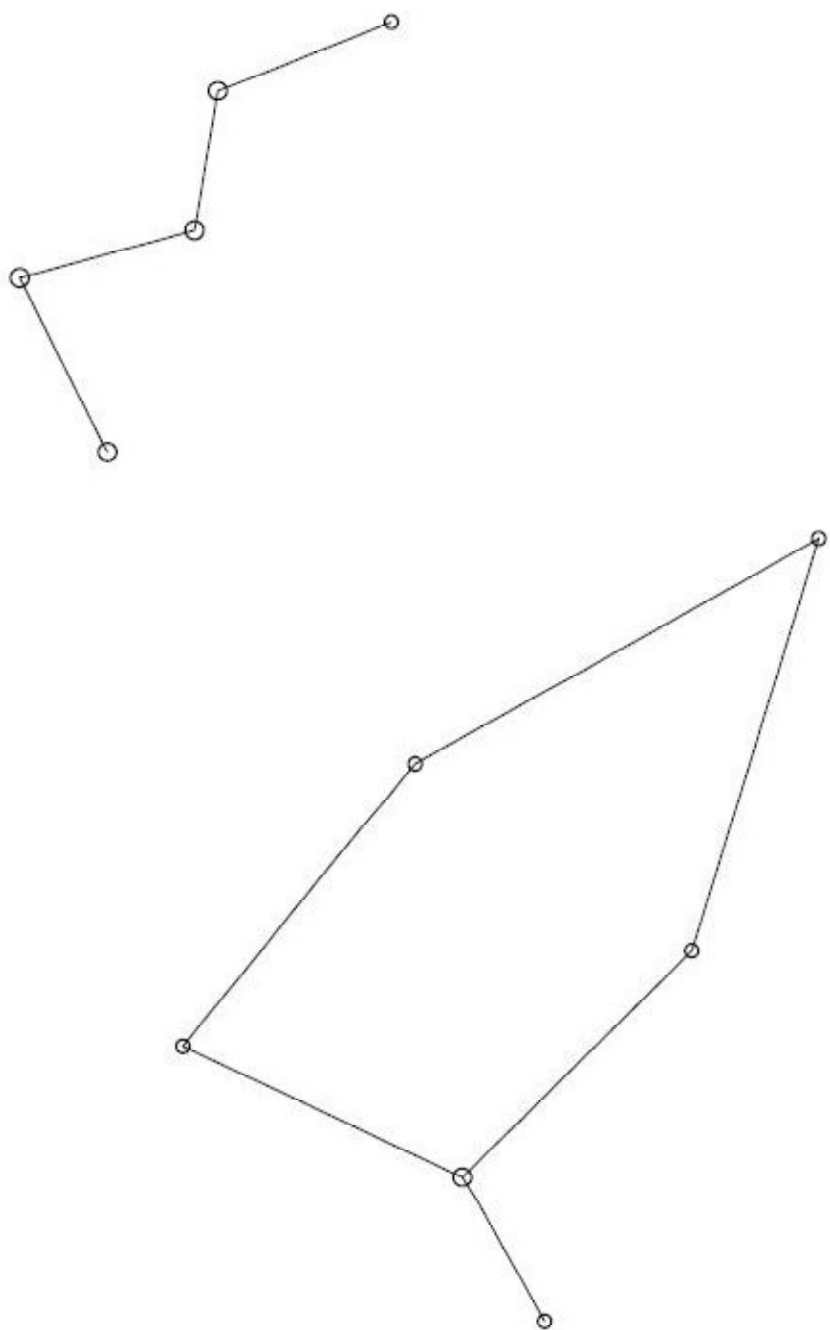


こぐま座と北斗七星



冬の大三角形

北極星



カシオペア座と北極星